

1 これまでの取組状況と課題

(1) 「事務事業の総点検」の実施経過

市の事務事業の継続的な改善・見直しと行政運営の透明化を目的に平成23年度から「事務事業の総点検」を実施してきた。

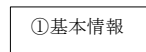
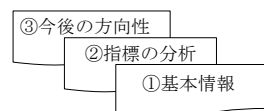
(2) 平成30年度における取組状況

① 1次点検（1,045事業）

原則全ての事務事業を対象に事業所管課が1次点検を実施。

詳細点検（約700事業）

基礎点検（約300事業） （法定義務経費等事業など）



② 2次点検（153事業）

評価の質の向上と行政活動の改善・見直しの着実な推進を図ることを目的に、事業所管課での1次点検の結果を踏まえ、行革推進課と外部有識者が2次点検を実施。

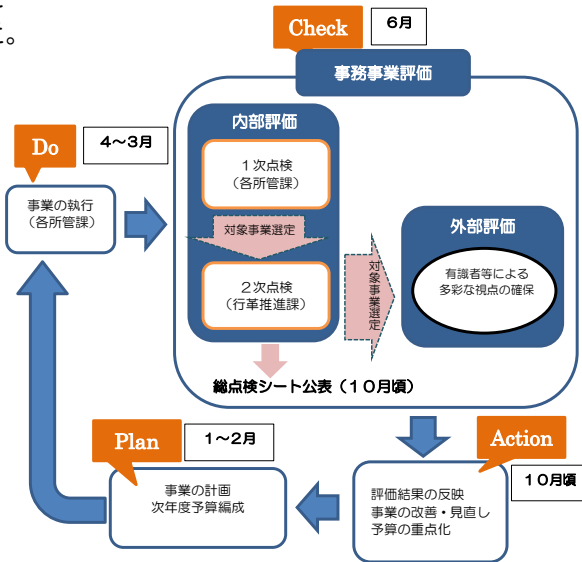
(3) 課題

① 効率的な点検の実施

事務事業評価を活用した事務事業の見直しが一定定着してきている中、より効果的・効率的に事務事業評価を実施するため、対象事業を精査する必要がある。

② 施策推進に向けた評価制度の構築

個別事務事業の改善・見直しに加え、施策を着実に推進するため、事務事業間の連携や行政資源の有効配分等につながる新たな評価制度を構築することが求められている。



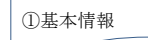
2 平成31年度における事務事業評価の見直し

(1) 区分別点検レベルの設定

点検をより効果的・効率的に実施するため、下記の条件に基づき事務事業を区分し、区分ごとに点検レベルを設定のうえ、点検レベルに応じた点検を実施。
※点検結果はいずれの区分についても公表

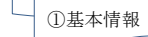
点検レベル1：基礎点検（約300事業）

・法定義務等で実施手法が特に限定されている事業や内部管理事業、単年度ごとの事業の改善・見直しがなされない事業など



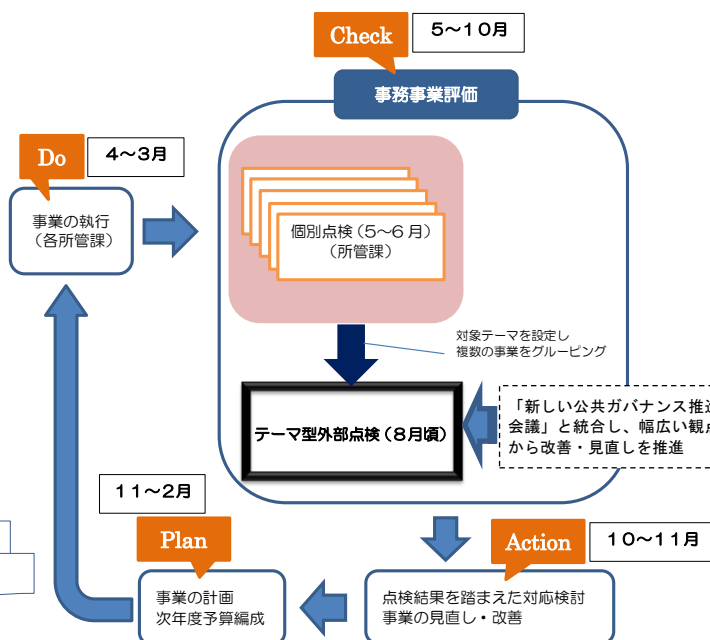
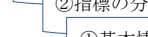
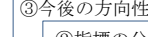
点検レベル2：簡易点検（約200事業）

・事業費が500万円未満の事務事業



点検レベル3：詳細点検（約500事業）

・マスタープラン後期実施計画掲載事業
・事業費が500万円以上の事務事業



(2) (仮称) テーマ型外部点検の実施（詳細は右頁参照）

個別事務事業の改善・見直しに加え、事務事業間の連携や行政資源の有効配分等につながるため、対象のテーマを設定し、関連する複数の事務事業をグルーピングのうえ、横断的に点検を実施する。

なお、既存の「新しい公共ガバナンス推進会議」においても対象テーマを設定し議論を行っており、事務事業の更なる改善・見直し及び新しい公共ガバナンスの推進に関し充実した議論を行うため、本会議を統合のうえ、効果的・効率的に点検を実施する。

3 (仮称) テーマ型外部点検の実施（試行実施）

(1) 目的

個別事務事業ごとの点検では気づきにくい課題などを明らかにし、事務事業のさらなる改善・見直しを図るとともに新しい公共ガバナンスを推進することにより、**施策の着実な推進及び行政コストの改善を図ることを目的とする。**

(2) 実施概要

（実施時期）8月以降、2回程度

（実施手法）事業所管局と委員が協議を行う（1テーマ2時間程度×2回程度）※公開実施

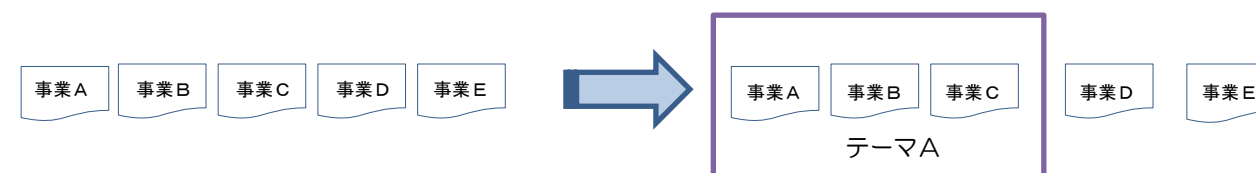
（委員構成）学識経験者、市民活動団体に属する者、民間企業経営者、対象分野に識見を有する者、公募市民等

(3) 点検対象

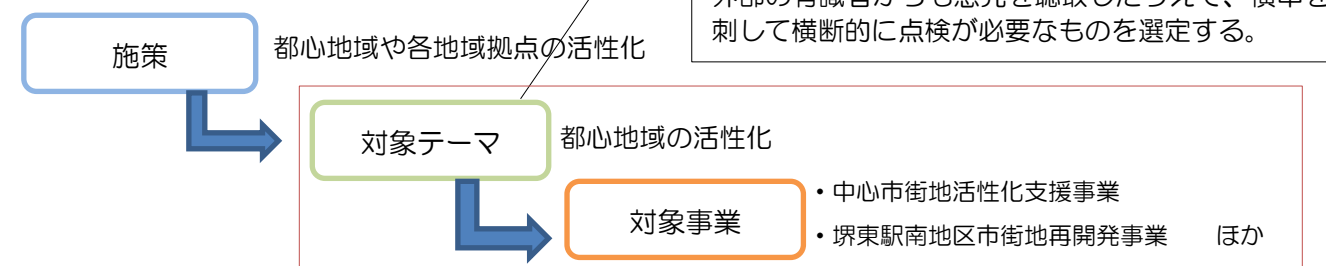
当初予算における重点取組項目や市民の提案等を参考に、新しい公共ガバナンスの考え方も踏まえながら、点検を実施する事業の中から、**同じテーマにグルーピングされる事務事業を対象として選定。**（1テーマ5事業程度×2テーマ程度を想定）

（平成30年度）個別に点検

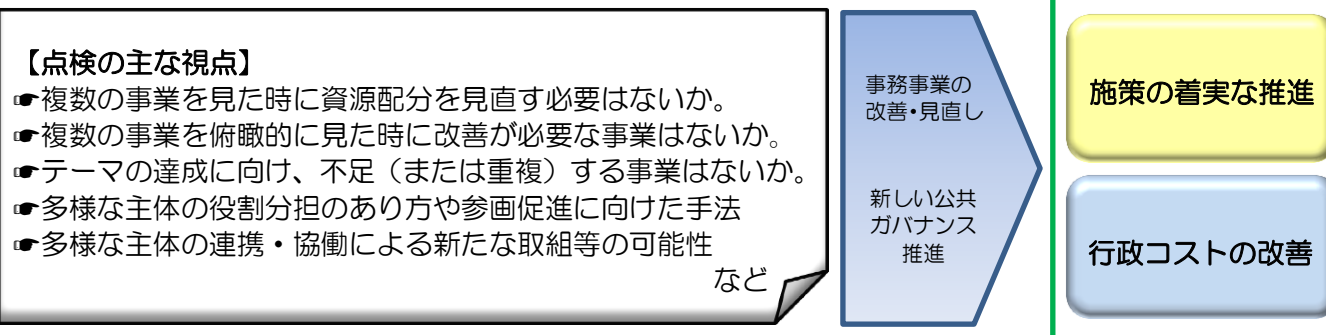
（平成31年度）**横断的に点検**



<対象テーマ（イメージ）>



(4) 点検の視点（主な論点）及び想定される効果



(5) 点検結果への対応

事業所管課は、施策の着実な推進に向け、協議内容を踏まえ、事務事業の改善・見直しを図るとともに、**必要に応じて次年度当初予算要求に見直し内容を反映するものとする。**